

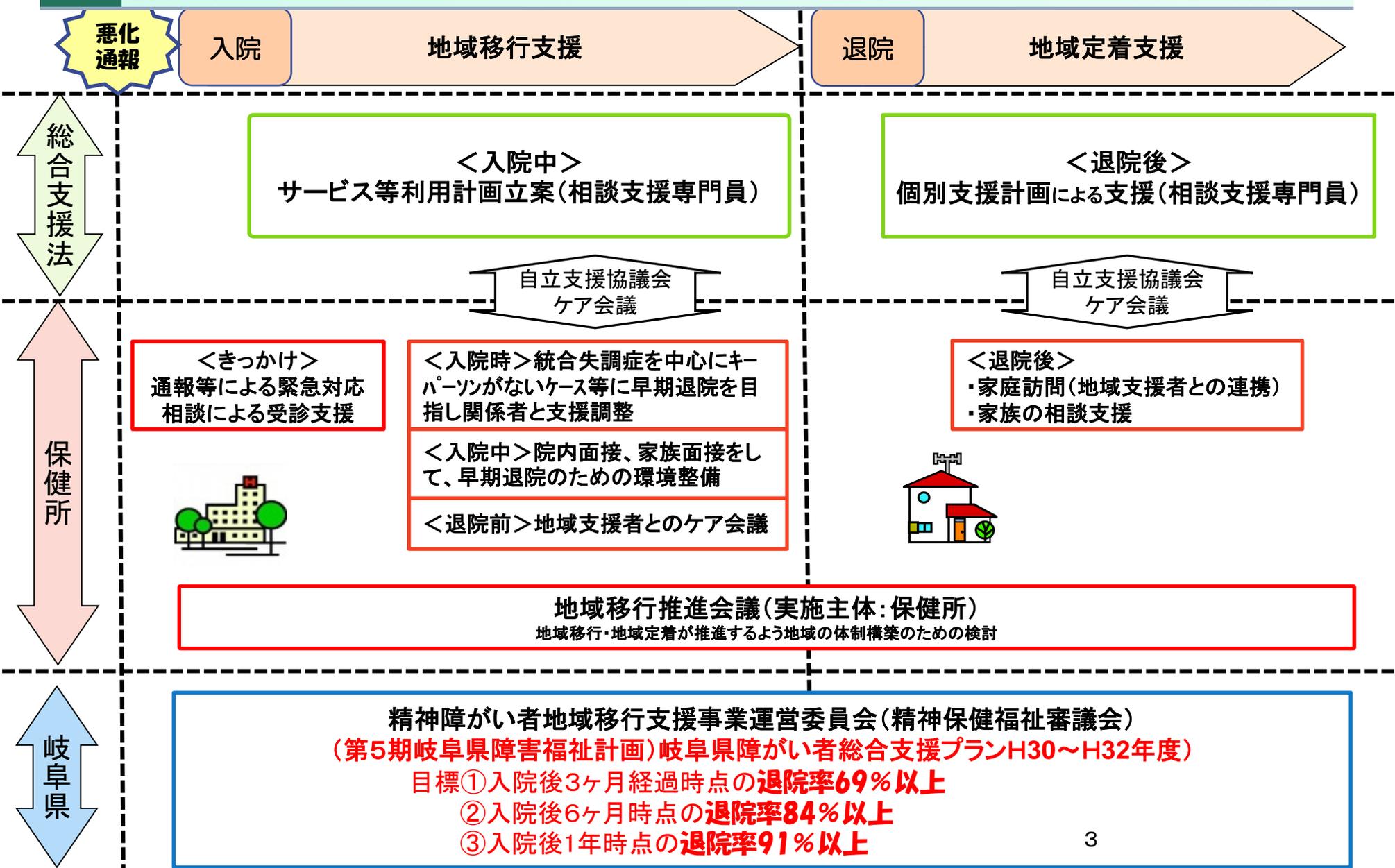
## 岐阜県

# 保健所を中心とした 精神障がい者の自立支援の取組

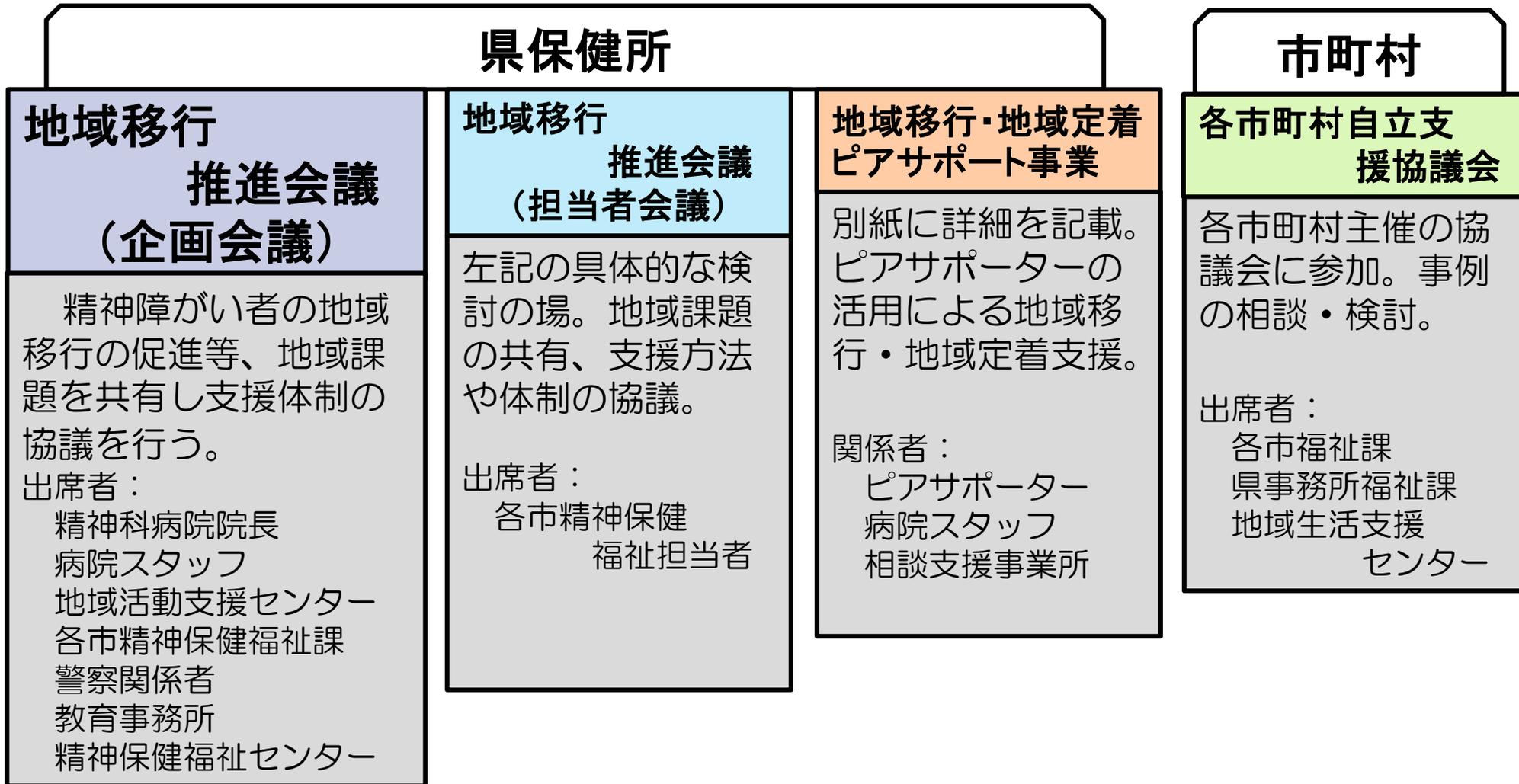
岐阜県では地域特性を生かすために保健所を主体とした精神障がい者の地域生活支援事業を行っており、地域生活支援センターや医療機関との協働により、ピアサポーターの活用に積極的に取り組んでいます。



## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）



2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）



地域関係者の連携・課題や方針の共有

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

「精神障がい者地域移行  
ピアサポート事業」開始  
・相談支援事業所におけるピアサポーター  
の活用

地域移行推進会議の開催  
(保健所)

「岐阜県地域移行支援事業実施要綱」

平成24年  
平成25年  
平成26年  
平成27年  
平成28年  
平成29年

(実施保健所数1)  
活動ピアサポーター数10人

(実施保健所数2)  
活動ピアサポーター数14人

(実施保健所数2)  
活動ピアサポーター数13人

(実施保健所数2)  
活動ピアサポーター数22人

(実施保健所数2)  
活動ピアサポーター数22人

(実施保健所数2)  
活動ピアサポーター数18人

地域定着(退院後の支援)  
の視点を追加

「研修会等」を追加

目的:  
病院職員・家族に地域移行の意識づけ

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

### 【特徴(強み)】

<保健所による地域の特徴を生かした取組みの推進>

- ・精神保健福祉に関わる管内の機関と連携を密に図り、地域移行支援について協力体制がある。
- ・ピアサポーターの活用による他事業への波及(各研修講師として活躍)

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
		行政側	医療側
医療機関、地域のそれぞれが、課題や役割について共通理解する必要がある。また、圏域を超えての入退院患者の支援の方法の検討が必要	退院後支援のガイドライン等による、県内の退院後支援の取組についての標準化	行政側	退院後支援の流の明確化、支援計画の作成、地域移行推進会議や個別ケア会議の開催
		医療側	ニーズアセスメントや、地域支援者への技術支援
		事業者側	地域実情やニーズに応じた個別支援の計画
		関係機関・住民等	医療や行政との連携
長期入院者などは、入院生活が安心となる場合があり、退院へのアプローチ方法が課題	当事者のみならず、家族への意欲喚起や、地域の理解促進が必要	行政側	入院機関との連携、家族や地域の理解促進
		医療側	入院直後からの退院に向けての働きかけ
		事業者側	福祉サービス利用の促進
		関係機関・住民等	地域の受入れ体制整備、ピアサポーターの活用

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
①圏域を超えた、入退院ケースの支援の実施	県内のいずれの病院であっても、同じ支援が受けられる	—	支援マニュアルの整備
②ピアサポーターによる退院支援活動の促進	当事者と同じ視点を持って支援ができる	活動中のピアサポーター18人	18人以上

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の取組スケジュール

### 平成30年度の目標

- ・精神障がい者地域移行・地域定着支援ピアサポート事業の拡充を図る。

時期(月)	実施内容	担当
年6～8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポート活動</li> <li>入院患者との交流</li> <li>入院患者と作業所等の見学</li> </ul>	相談支援事業所 ピアサポーター
年2回程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病棟スタッフ向け研修会</li> <li>・患者家族向け研修会</li> </ul>	相談支援事業所 ピアサポーター
年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会</li> <li>・地域移行推進会議(担当者会議)</li> </ul>	市町村 県保健所
年度末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行推進会議(企画会議)</li> </ul>	県保健所

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移と目標値

NO	指標	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 32年度	平成 36年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	2,330			2,076	1,438
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	0				X
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	—				
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)					
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	22	27	18		
⑥	地域移行を促す基盤整備	X				
⑦	治療抵抗性統合失調症治療薬の普及					386
⑧	認知症施策の推進					44

目標値

【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。  
※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。
- ⑥⑦⑧について ※障害福祉計画上に明記した地域移行者数(地域移行に伴う基盤整備量(利用者数))を踏まえ、記載して下さい。  
※⑥・⑦・⑧のそれぞれの値を分けて記載できない場合は、⑥+⑦+⑧の合計値を記載して下さい。